

北米のブルーベリー 品質が高く需給は旺盛

[FreshPlaza](#) 2024年5月15日

「ブルーベリーの高い需要は、旺盛な供給と優れた品質によって推進されている」

南米産からの円滑な移行により、ブルーベリーの中心は北米産に切り替わった。グルメ商会(カナダの食品輸入商社)のルチアーノ・フィスマン氏は「産地間の移行時に供給の切れ目はなく、メキシコとフロリダ州の戦略的パートナーのおかげで、業務上及び商業上の問題なく移行することができた。既存の顧客との関係を維持・継続し、シーズン序盤の力強さにより一層強化することができた」と述べている。

今のところ、限られた量の有機栽培と慣行栽培の果実がメキシコから持ち込まれているが、米国市場で出回っているブルーベリーの大部分は国内産である。同氏は「東部では、フロリダ州の出荷シーズンが終わり、今はジョージア州で最盛期が続く中、今週はノースカロライナ州でも収穫が始まった」と言う。

西部では、グルメ社のカリフォルニア農場で10日前に収穫が始まり、来週末までに収穫量が増加する見込みである。同社のカリフォルニア州のブルーベリー農場は、サンホアキンバレーのデラノ市にある。この地域は夏の暑さで知られており、6月の気温にもよるが、ブルーベリーの収穫はあと5週間続くと思われる。出荷量のピークは5月の後半になる見込みである。

受粉は良好 デラノ市にある同社の農場で生産部門の責任者を務めるミシェル・カーペンター氏は、今シーズンの果実の品質に大変喜んでおり、「果実のサイズは大きく、実が締まっており、極めて味が良い」と述べた。これはカリフォルニア州だけでなく、ジョージア州にも当てはまる。今シーズンは、西部と東部の両方の生産物が高い品質を示している。これは、すべての産地で経験した暖冬の結果かも知れない。同氏は、「ちょうど足りるだけの低温時間があったが、生産を危険にさらすような遅い時期の低温はなかった。にわか雨が降ったが受粉は大変うまくいき、授粉者/媒介昆虫の働きにより着果が良好で、大玉の果実が得られた」と述べた。開花中も開花後も天候は最適であった。

魅力的な価格 品質が高いため、需要も旺盛である。同社のアドリアーナ・フォーチュン営業部長は、「良い果実があることは、需要を増やすのに確かに役立つ」と述べている。業界の中には一部の地域の出荷量の見通しに神経質な見方もあったが、需要は旺盛で、出荷量との絶妙なバランスを保っている。旺盛な需要とすべての産地からの十分な供給により、魅力的な価格設定を実現している。同氏は、「ブルーベリーを買う消費者は良い買い物をしており、繰り返しの購入に繋がっている」と言う。

この好循環により、出荷量が多いにもかかわらず滞貨がないため、冷蔵倉庫は良い状態に保たれている。しかし、その反面、価格は生産者が望むような水準ではない。それは、出荷シーズンのこの時期としてはほぼ平均的であり、出荷の最盛期を前倒しするのに十分合理的な水準である。

フォーチュン氏は、ジョージア州など他の地域の出荷が減速し始めれば、数週間で価格が少し回復すると予想しており、「(少し前には)価格が高かったため、荷動きが鈍くなって問題になる可能性もあった。しかし、価格は適切なタイミングで調整され、優れた品質と相まって、生鮮ブルーベリーに対する高い需要が維持されている」と語った。出荷量が多い場合の課題の1つは、梱包施設の処理能力である。同氏は、「農場が収穫できるだけの量を吸収し、果実を処理して市場に出すのに十分な梱包施設がない」と述べた。

同氏は「要するに、優れた品質こそが市場を維持する鍵であり、今年はそれが実現している」と述べた。出荷量は多いが、消費者は購入した果実の品質に満足し、繰り返し購入するために再び売り場を訪れている。

執筆者: マリーケ・ヘムズ

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)